



STOP 糖尿病

糖尿病ケア通信H30年度、6号

糖尿病で血糖コントロールをしている患者に**血糖日内変動**の指示がでますが、これはなにを知るためのものでしょうか？

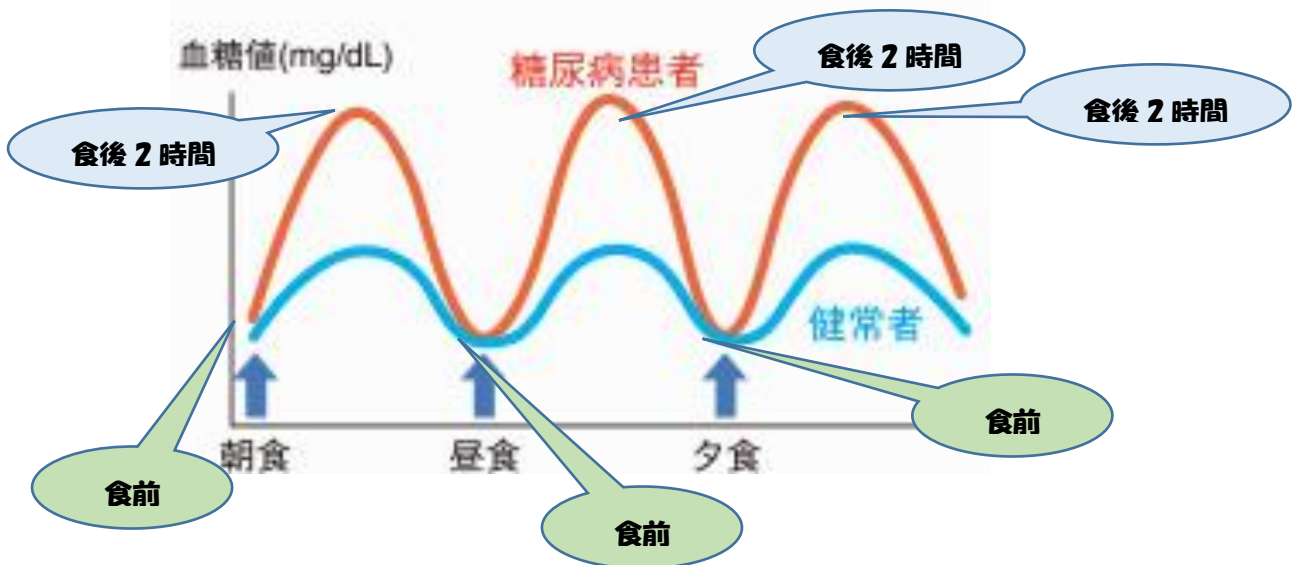
血糖値は、血液中のブドウ糖(血糖)の量を示していますが、1日の中でも時間とともに変化し、食事の内容や量、運動やストレスなど様々な要因で変動します。そのうち特に血糖値に影響するのが食事です。人間の身体は、食事をすると血糖値が一時的に上がります。そして、食後1~2時間が血糖値のピークとなり、元の血糖値の水準に戻ります。

そのため、空腹時血糖値、食後2時間値、HbA1cは血糖コントロールの状態を知るうえで重要といえます。

血糖日内変動といえば、各食前と食後2時間値の計6回測定するのが基本となります。

*食後2時間値は食事を食べ始めた時間から2時間ということになります。

糖尿病患者と健常者の1日の血糖変動



では、入院中はどうでしょうか？

当院の食事時間は朝食 8:00 昼食 12:00 夕食 18:00 となっていますので、食後2時間は 10:00 14:00 20:00 となります。

【血糖日内変動の測定時間】

7:30

10:00

11:30

14:00

17:30

20:00

* 日内変動をしているときスライディングスケールを実施するのは、

各食前(7:30、11:30、17:30)のみとなります。

食後2時間の時はインスリンはうたない